



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン



ロータリーは
機会の扉を開く

ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



鯖江ロータリークラブ会長方針

こころ一つに
手と手繋いで

会長 野中 敏昭

第2961回
2/12(金)

2月第2例会

点鐘:12:45

テーマ「RENEWについて…」

卓話 実行委員長 谷口康彦 様
事務局長 森一貴 様

第2962回
2/19(金)

2月第3例会

点鐘:12:45

テーマ

卓話 会員卓話 予定

2月第4例会

点鐘:12:45

テーマ

卓話 山口 サマンサ 様

第2963回
2/26(金)

4つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

出席率72.7%

2/12(金)
第2961回
例会報告

鯖江商工会議所 4階大ホール

開 会 点 鐘
四 っ の テ ス ト
ロ ー タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

取り上げられて、「日本はやっぱり女性後進国のように思われて残念」、「オリンピックの精神に反している」など、さまざまな批判の声が上がっています。「女性がたくさん入っている理事会の会議は、時間がかかります」「女性ってというのは競争意識が強い。誰か1人が手をあげて言うと、自分も言わなきゃいけないと思うでしょうね。それでみんな発言されるのです」などと発言したというニュースを聞いた時、また、やっちゃったな、と思った方いらしたと思います。そのほかにも、森さんの失言というか、本音の問題発言は何度もメディアを賑わしてきた方です。

それでは、女性会員とロータリーの歩みについてお話ししたいと思います。女性はロータリーで活躍しており、地域社会で奉仕活動を行う女性会員の数やリーダー職に就く女性会員の数も年々増えています。全世界でロータリークラブへ女性の入会が認められた1989年規定審議会は、ロータリーの歴史上で重要な分岐点となりました。

「1905年と1989年はまるで別世界であります。従って、ロータリーは移り行く世界に足並みをそろえるべきだと考えます」と訴えたのは、後の2000-01年度にRI会長に就任したフランク J. デブリン氏です。決定の背景には、ロータリー世界で男女を問わず多くの人々がロータリークラブで女性の入会を認めようと数十年に渡り活動してきたこと、また前回までの審議会で着実に賛同者を集めてきたことがありました。そしてこの決定は大きな反響を呼びました。翌1990年には女性のロータリアンの数が2万人以上に跳ね上がったほどです。2010年7月までに、その数は世界で195,000人(全ロータリアンの約16%)となり、**2020年7月には277,000人を超えました(全ロータリアンの約23%)**。

安倍元首相は、2015年度の国家公務員採用について、女性の割合を30%以上に引き上げることを表明しています。民間についても積極的な女性の採用や登用を促しています。これが安倍元首相のウーマノミクスです。

ロータリーの最優先事項は、会員基盤の成長と多様化を図り、私たちが奉仕するコミュニティを反映した会員基盤を築くことです。より多くの人が結束すれば、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げられることを私たちは知っています。この理由から、ロータリーでは多様性、平等さ、開放性を重視しています。ロータリーは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称え、迎え入れます。

以下の歩みから、ロータリーでの多様性の促進につながった画期的出来事やシニアリーダー職における女性の躍進をご覧ください。これらのリーダーや女性会員は、世界中の地域社会で好ましい変化を生むために日々尽力しています。

わが鯖江クラブの現在会員数37名、内女性は3名で9%です。まだ少ない状態です。

会員増強の面からも、男性会員のみならず、女性会員のご推薦をよろしく願います。

ご清聴ありがとうございました。

幹事報告



瀧ヶ花 秀晃 幹事

・来週第3例会は、クラブフォーラムを予定していましたが、感染防止のため延期とさせていただきます。来週は会員卓話という事で、梅田プロ

ラム委員長よろしくお話ししたいと思います。

・会員の方から、みそ汁と温かいお茶を出して欲しいというご要望をいただいておりますが、コロナ感染防止のためもうしばらく我慢いただきますよう、どうぞよろしくお願い致します。

・2月16日19:30～鯖江公民館に於いて、鯖江ロータリークラブ例会を行います。正式な案内は事務局より行いますので、ご参加ください。

ロータリーソング

我等の生業

口ずさむ程度にお歌いください。

本日のリモート出席者



馬場 一彦 会員



野呂 和夫 会員

会長の時間

野中 敏昭 会長

皆様こんにちは。

2月23日は、ロータリー創立記念日です。創立116年でございます。

2月は平和構築と紛争予防月間です。『平和の祭典東京オリンピック』ぜひ無事に日本で開催できるとよいと思います。

さて、東京五輪パラリンピック大会組織委員会の森喜朗会長(元総理)の辞任のニュースがございました。そもそも、日本オリンピック委員会(JOC)臨時評議会(2月3日)での発言が、この発端です。国内外のメディアでも

卓話 実行委員長 谷口 康彦 様
 事務局長 森 一貴 様
 副事務局長 村上 捺香 様

テーマ 「RENEWについて・・・」



卓話者紹介 梅田 吉臣 プログラム委員長

先だって新聞にも出ておりました「RENEW」ですが、東海北陸ブロックの地域再生大賞を頂きまして、本日谷口委員長と村上副事務局長が県庁の方に行かれます。事務局長の森さんが卓話をしていただくという事です。谷口さんと村上さんは途中退席いたしますが、ご了承ください。

「RENEW」は、河和田から始まりまして、色々な地域の伝統産業などを巻き込みながら、いろんな活動をされています。



卓話者 「RENEW」実行委員長 谷口 康彦 様

本日はお時間を頂きましてありがとうございます。1ヶ月ほど前に梅田先輩(めがね業界)に声をかけられ来ましたら、JCの先輩達がお揃いでいますので、ちょっと緊張しております。

「RENEW」は2015年に私が河和田地区の区長会長になった時、河和田地区人口4千人位の村おこしがしたかったわけです。漆器を代表する地場産業が元気にならないと、地域が元気にならないので、10人の有志を集めて1歩進んだのが始まりです。いろんな方の汗や物が重なり合い、昨年から『国土交通大臣賞』や『グッドデザイン賞』『地域再生大賞』『東海北陸ブロック賞』をいただくようになりました。最初は小さな村おこしだったものが、やっている内に色々評価をいただいたりして自信が付き、お客さんやファンが付いてくださるようになりました。事務局長の森くんが説明致しますので、聞いてやってください。



卓話者 「RENEW」事務局長 森 一貴 様
 テーマ 「RENEW」について

初めまして「RENEW」事務局長の森一貴です。よろしくお願ひします。私は、山形県出身で、東京大学を卒業後、東京で仕事をしていましたが、2015年「ゆるい移住」を機に鯖江市に移住し、「RENEW」立ち上げから参画し2017年に事務局長に就任しました。

鯖江市周辺には、7つの地場産業(眼鏡・繊維・漆器・和紙・焼物・箆笥・打刃物)が半径10km県内に集積しています。これだけ多様性のある産業が揃っているのは、全国で見ても非常に珍しい地域だと思ひます。更に、鯖江の河和田地区ではギャラリーや新しいお店がかなり増えています。そして、20代や女子高生などがSNS・インスタグラム等を通じて、週末などに来られる雰囲気もあります。また、移住者が多い地区でもあり、来年事務局長の村上さんは石川県出身というように、色々な方が住んでいます。そんな方々が一緒に行っているのが、「RENEW」というプログラムです。

「RENEW」は、工房見学イベントです。普段は工房に中々入る事ができませんが、1年に1回くらい工房を開放する日があっても良いのではないかと2020年には76企業にご協力いただいて、3日間だけ一斉開放するプログラムを提供しました。例えば、眼鏡の職人さんが自らお客さんの目の前で、実際に眼鏡を作りました。越前焼の所では、職人さんが作り方を指導していただきました。工房見学やワークショップの他にも、トークイベントや職人さんとお客さんとコミュニケーションが取れる空間を提供しています。イベントの最後に撮った写真の通り、本当にたくさんの職人さんや地域の学生さんで作り上げた地域のイベントです。昨年の来場者は、3日間で3万2千人を記録しております。76社全部の売り上げは、2千300万円という事で、大きな経済効果を生み出しています。

「RENEW」を始めたきっかけは、河和田地区の漆器が1983年には出荷額が130億円ありましたが2012年には1/3まで落ち込み42億円となりました。又、

従業員数も1985年には1400人就業していたものが、2012年には1/3に減り430人となってしまったのが現状です。しかしその中で、さっき申し上げた通り「漆器がやりたい!」「メガネを作りたい!」と若い子が河和田に飛び込んでくれた時に、20~50年後にその産業は残っているのだろうかと考えた時に、かなりの危機感がある現状です。地域はどうしても補助金依存が蔓延していて、行政の方は伝統産業を守ろうとお金を出してくれますが、有効活用できなかつたり、お金をくれるから仕事をしている等の悪い循環が出来ていました。自分達が覚悟を持って産業を守っていかうと考えたのが「RENEW」でした。最初イベントをしたのですが、20代の女性や若い人が大変多く集まり、「何かすごくない?」と思ってもらえ、もっと面白い事やっていこうよという空気が出来ました。

「RENEW」では、アウトブランディング(外を向く):来場に対し、産地の物作りをじっくり体感してもらう事で、ファンを増やす。と、インブランディング(中を向く):参加事業所が自分事として行動することで、意識が変わる。という2つの方向性を大事にして、地域の内と外・両輪で好循環を生み出す事を大切にしています。

2015年から現在までの間に、「RENEW」の展社だけで24店舗新しい店が生まれています。すると、景色が変わってきます。今までは目的の店だけを往復するだけでしたが、点ではなく面で(いろんなお店を覗いて)買い物をするようになりました。その他にも、WEB制作や商品開発等、色々な変化も起こり始めています。

「RENEW」のイベントの様子は、若い人でうるしの里会館も河和田コミュニティーセンターも小学校も駐車場は満杯です。集まってくれた展社さんと、県外からデザイナーさんや先進的な物作りをされてる方々が見学に来られます。そういった、内外の人々がつながる手助けも提供しています。また、鯖江駅や武生駅を「RENEW」でハイジャックさせていただき、駅に降り立った方々が「あれ!何か始まっているんだ、行ってみよう」という驚きを作っています。会場はたくさんの方で溢れていて、県外の方々のマーケットのようなものも開いたり、お互いの思いをコミュニケーション出来るような場を提供しています。最近、アメリカや中国やドイツの方、県外の方が日本の伝統産業の良さに気づききっかけも提供しています。トークイベントは、移住を希望する方・この町で伝統産業に従事したいと考えている方向けにイベントをしています。「移住エキスポ」は、先輩移住者に河和田で暮らすための苦労話などをし、予め知っていたらうで飛び込んでもらおうとしています。皆さんにとっては当たり前の風景が、若い人達・東京の人たちにとって凄く新鮮な刺激になります。18の方が産地の合同説明会に参加し、1日就房体験をしまして、2名が就職できました。

『共につくり、変わりつづけるものづくりのまちを』

ここにBOA報告

- | | | |
|--------|----|-------------------------------|
| 野中 敏昭 | 会員 | RENEW様の卓話を楽しみに |
| 瀧ヶ花 秀晃 | 会員 | 〃 |
| 田村 康夫 | 会員 | 県政功労を頂きまして 感謝 |
| 梅田 吉臣 | 会員 | リニューの谷口様、森様、村上様をお迎えして。卓話を楽しみに |
| 酒井 芳則 | 会員 | 谷口さまの卓話を楽しみに |
| 窪田 健一 | 会員 | 〃 |
| 深見 泰和 | 会員 | 〃 |
| 西尾 俊一 | 会員 | 早退します |
| 大島 恒彦 | 会員 | 〃 |
| 齋藤多久馬 | 会員 | 〃 |



吉田 俊博
 プログラム委員長